石川モンゴル親善協会事務局
〒920-8602 石川県金沢市御所町丑10-1
金沢星稜大学　沢田勲　気付
TEL　090-9449-4323
Fax　076-223-1057

石川モンゴル親善協会の3年をふりかえって

会長沢田　勲

本協会も設立されて、やがて３年の歳月が流れようとしております。現在の会員数は４１名という小さな団体ですが、「モンゴル大好き人間」の集まりであることは、設立当初となんら変わりはありません。

国際交流の輪は、人づくりから始まると言われます。それゆえ本協会では、石川県の大学に留学しているモンゴル人学生への支援活動を通して、石川とモンゴルとの友好の絆を深めることを第一義と考えております。

同時に、交流相手を理解するにはその文化を知ることが必要です。これまでモンゴルゲルの生活体験、モンゴル料理をつくる会、馬頭琴演奏会の開催など、モンゴル文化との交流を企画したのもこのためです。今年からの試みですが、「モンゴルから学ぶ市民講座」を開設して、モンゴルの歴史や文化を勉強する会も開催致しました。

毎年１０月に開かれる金沢市が主催する「国際交流祭り」に参加して、モンゴル餃子のボーズや甘いモンゴル岩塩の販売を通じて、モンゴル文化や風俗の紹介に尽くしてまいりました。幸い多くの方々の支援を得て、いずれの行事も成功裏のうちに終わりました。

でも残念ながら、本協会に参加される人は高齢の方が多く、活動にも一定の限界があります。モンゴルに関心があり、民間レヴェルの親善活動にどんな形でも協力していただける方なら、職業、年齢、性別に関係なく、多くの方々のご参加をお待ちしております。特に青年、学生など若い皆さんの積極的な参加に期待しております。

なお最後になりましたが、１１月２７日(土)午後２時から、ホテル金沢で開催される環日本海交流の国際シンポジウムに、駐日モンゴル国大使館のバッチジャガル経済・商務担当参事官が出席されます。この機会に参事官と交流を深めたいと考えておりますので、多くの方々の参加をお待ち致しております。

今後の行事予定

ゲルでティーパーティー

「河北潟自然再生まつり」の行事の一環として、11月23日12：00～16：00まで、こなん水辺公園でティーパーティーを開く。当日はゲルも建てられ、その中でボウズやスーティー茶を味わう事もできる。現地では9：00から、他の各種団体による多彩な行事も行われる予定。祝日の一日御家族お友達を誘ってぜひご来場を。

2010 / 忘年会

12月9日（木）１８時３０分より
白鳥路ホテルに於いて　忘年会を開催します。会費は　４０００円　～　５０００円です。日頃。お話する機会のない方も。ぜひご出席下さい。モンゴルの留学生達も出席する予定です。

国際交流まつり盛況！完売！

「国際交流祭2010」が10月2日（土）、3日（日）に、金沢市役所広場、庁舎内で行われ、石川モンゴル親善協会も3回目の参加をした。アンギルマ中谷さんや金沢大学留学生のトクシンコクバルジャニムさん（通称トクソーさん）達に作ってもらったボウズ、ホーショーロ、モンゴル茶で作ったミルクティーであるスーティー茶、他に、モンゴルの岩塩、アンギルマさんに委託された小物などを販売した。

これまで「物販・情報・体験コーナー」にあったブースが、今年は「飲食コーナー」に移り、人の流れをうまくつかめたように思う。初日の2時近くには、ボウズ・ホーショウーロが300個完売するというハプニング。2日目のために急いでボウズ作りをした。買出しに出かけた後、藤木宅でボウズ作りをした。午後10時近くまでかかった。留学生3人にお願いしたが、トンガさん・ノミョンさんは、金沢に着いて2日目ということであった。

庁舎内のプログラムとして、「モンゴル茶とかぎ煙草教室」を開き、2日と3日にトクソーさんとアンギルマさんが講師をつとめた。

10月12日の理事会で「交流まつり」の反省をした。スタッフの動員、ボウズの製造販売方法、その他の販売品の集め方など問題点について話し合った

モンゴルの歴史や文化を学ぶ講座

「モンゴルの歴史－<元寇>の真相」というテーマで沢田勲氏による講座が、9月17日夜7時より、NPO支援センター会議室で開かれた。誰もが歴史の時間に習ったことのある史実であるが、それを多面的にとらえた興味深い内容であった。14.5人の出席にとどまったのは残念であったが、今後はもう少し活発に宣伝活動を行い、会員以外にも働きかけ出来れば会員を増やす事にもつながればよいと思う。

岩本荘太氏、叙勲を受章

石川モンゴル親善協会理事の岩本荘太氏が「旭日中綬章」の叙勲を受章されることが決まりました。参議院議員として国会運営に努められた功績によるものだということです。心からお祝い申し上げます。

□ 寄稿 □

モンゴル野球

恒川　貴代

２００８年６月４日―８月２日までモンゴルのＵＢに滞在していました。そこで出会ったのはモンゴル野球の子供達。目をきらきらさせて大きな青空の下で野球をする子供達に出会い、私も１ヶ月ちょっと子供達と一緒に野球の練習をしてきました。

きっかけは私が初めてモンゴルへ行ったときからお世話になっているモンゴル人の家族の奥さんが日本語教師だったこと。日本語教師の奥さんが野球の一部の子供達に日本語を教えに行っている（この子供達は７月に日本へ野球遠征に行く子供達なのです）という話しを聞き、奥さんについていったのが始まり。

「モンゴルにも野球があるんだ」と驚き、立派な野球場があることに驚き、そして野球が大好きと体いっぱいに表現する子供達に心惹かれ、野球を通してモンゴルという国・人がますます好きになってしまったのでした。

モンゴルにも野球があるのをご存知でしょうか？日本のように野球の歴史は長くないのですが、現在１００人ほど野球に打ち込んでいる子供達がいます。

モンゴルには野球場が１つしかなく、野外なので夏のみの野外練習になります。冬はマイナス２０度にまで下がるので、長い冬の間は屋内の練習になります。そんな環境の中でも子供達元気いっぱいに野球の練習に励んでいます。

問題なのは野球のグローブ、ボールなど道具がモンゴル内で手に入らないこと。国内生産はほぼなく、現在は日本からのモンゴル野球の支援者のお陰で子供達は野球をすることができます。もし家庭で不要になった野球道具などありましたらモンゴルの子供達へプレゼントしていただけないでしょうか？

留学生紹介

Name : **Baijinnyaam Tuvshintugs**
Sex : Male
Place of birth: Ulaanbaatar, Mongolia
Date of birth: 1984 Aug, 04
When came in Japan: 2009Oct,01
Hobby: Looking after pet (tortoise, fishes, dog),watch a movie, read, to learn at least 2 foreign languages fluently.
Impress about Japan : Japan is one of the leading countries in the world, Japanese are very honest and respectably. when I cam in Japan the room spaces are seemed to me too crowded at the first time, but I have already adapted. In few words, Japan is place of the beautiful scenery and interesting culture.
I like Japan.

Name : **Randal Enkhtuya**
Sex : Female
Place of birth: Erdenetsagaan, Sukhbaatar Province, Mongolia.
Date of birth: 1986 Aug, 02
When came in Japan: 2009 Dec, 12
Hobby: Read books sightseeing, trip, cook and to learn how to prepare traditional, special foods.
Impress about Japan :Before, I was heard about some Japanese cultures as a tea ceremony. Now I am about to learn and enjoy everything here.

Name: **Dandar Erdembileg**
Age: 27 years old
Profession: Medical doctor
Study: Kanazawa university, Graduate School of Medicine, Department of Physiology
Family status: married, have 1 son (4 years old)
Impression of Kanazawa: I have been living in Kanazawa for 4 weeks and I like Kanazawa's autumn. I have visited Kenroku-en garden and enjoyed the beatiful nature of Japan. People of Kanazawa are very friendly and helpful. I think next 4 years in Kanazawa will be very interesting and full of new expierences for me and my family.

はじめまして。
モンゴル国立大学４年生のノミオンと申します。日本語は小学２年生の時から学び始めました。
今年の１０月から来年の９月にかけての１年間金沢大学で留学します。生物が専門です。
好きなものは自然なので金沢は大変気に入っています。あと、日本語で話すことも大好きです。
これからの金沢での生活を心いっぱい楽しみたいと思っています。
どうぞよろしくお願いします。

Brief self introduction
Name:Tseveensuren Odontungalag
Occupation: Medical doctor
Field of specialty: Head and Neck Oncologic Surgery
Family:Two children and husband
I was born in a small town in the South West part of Mongolia but grew up in Ulaanbaatar, the capital city after my parents moved there where my grandmother lived. My hobby was learning foreign languages and that made me decide to work as a translator after my graduation from my high school. After working as a translator for almost three years, a tragedy happened to my family. My father, who was a surgeon, lost his only brother due to lung cancer. My father`s extreme effort and care he showed to my uncle impressed the whole family and led me to medical career. After completing the studies, I worked as a head and neck surgeon in the National Cancer Center for 5 years and decided to advance my career more to research. Hence, I am here to do my Ph. D degree at Kanazawa Medical University in Uchinada. At the moment, I am a student of Kanazawa University and learning Japanese intensively. I am very delighted to express my deep gratitude to the people of Kanazawa and the teachers, professors for their warmest welcome.

□ 編集後記 □

とにかく一刻も早く第２号をという思いで編集した。力不足、時間足らずで思うようには行かなかったが、何とか発行にこぎつけほっとしている。いろんな方々にご支援いただいたが、パソコンに関して厚見正充氏には多大なご協力をいただき本当にありがとうございました。今後は、あまり形式的ではない、なるべく会員のナマの声が多く反映する紙面が作れたらと思っている。みなさまのご意見をおうかがいしたい。３年目をむかえ、石川モンゴル親善協会もようやく形を整え、活動も次第に活発になってきているように思う。発掘すればするほど、多士済々のメンバーがそろっている。その力を合わせれば、ますます今後発展できるにちがいない。（杉原）